

平成28年度 西紋地区ホタテガイ採苗情報 (No.5)

平成28年5月16日
網走西部地区水産技術普及指導所

5月16日に雄武・沙留・紋別地区でホタテガイ浮遊幼生調査を行ったので、結果をお知らせします。

- ・ 雄武・沙留地区では130～260 μm の浮遊幼生が断続的に出現し、紋別地区では130～300 μm まで連続して出現しました。130 μm 以下の幼生が非常に多く出現しています。
- ・ 前回調査より水温が上昇しました。

○浮遊幼生調査(図1)

- ・ 雄武・沙留地区: 幼生が130～260 μm の範囲で断続的に、1.4～43.9個体/ m^3 出現しました。
- ・ 紋別地区: 幼生が130～300 μm の範囲で連続して、1.4～16.3個体/ m^3 出現しました。
- ・ 別途実施した染色法による確認で、120 μm の幼生が非常に多く出現していました。

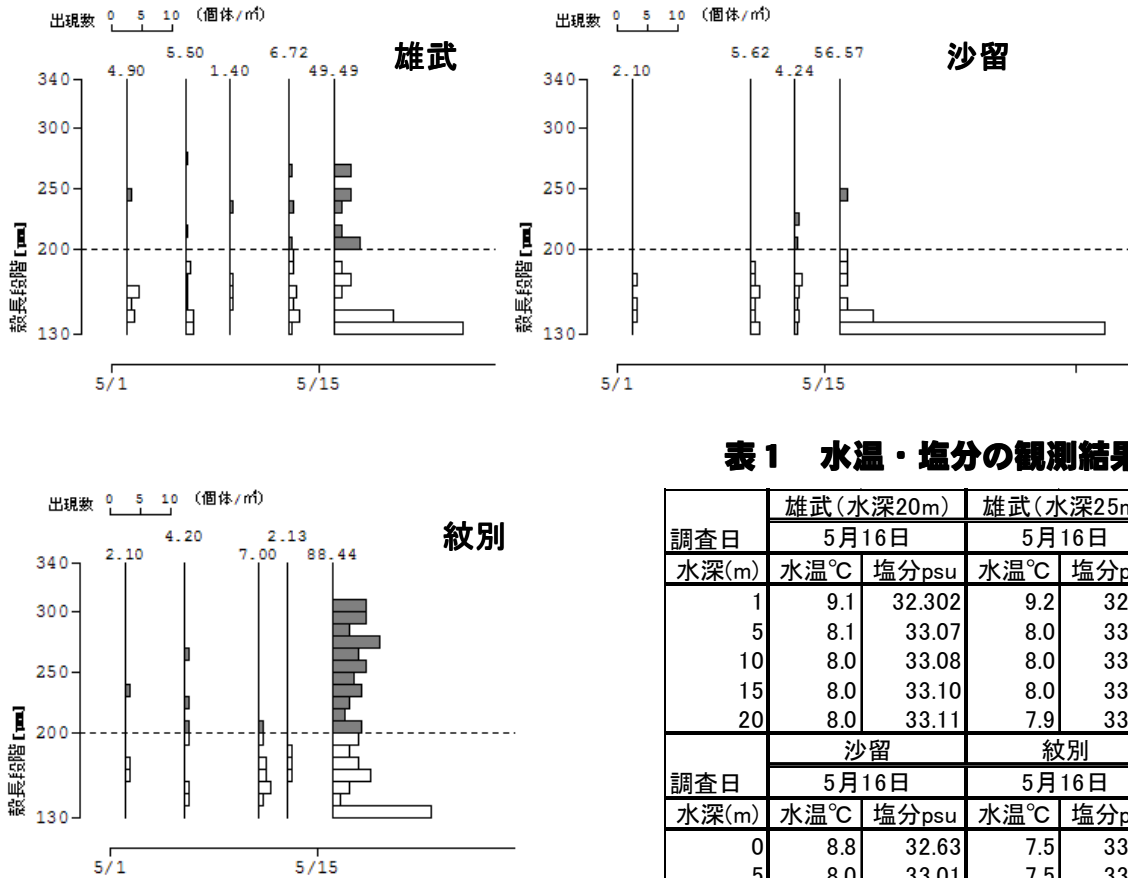


図1 浮遊幼生殻長組成の出現状況

表1 水温・塩分の観測結果

調査日	雄武(水深20m)		雄武(水深25m)	
	5月16日			
水深(m)	水温 $^{\circ}\text{C}$	塩分psu	水温 $^{\circ}\text{C}$	塩分psu
1	9.1	32.302	9.2	32.28
5	8.1	33.07	8.0	33.10
10	8.0	33.08	8.0	33.11
15	8.0	33.10	8.0	33.11
20	8.0	33.11	7.9	33.12
調査日	沙留		紋別	
	5月16日			
水深(m)	水温 $^{\circ}\text{C}$	塩分psu	水温 $^{\circ}\text{C}$	塩分psu
0	8.8	32.63	7.5	33.17
5	8.0	33.01	7.5	33.19
10	7.9	33.01	7.5	33.20
15	7.9	33.01	7.5	33.19
20	7.9	32.99		

○水温・塩分の鉛直分布(表1)

- ・ 調査点の水温は7.5～9.2 $^{\circ}\text{C}$ でした。雄武地区では前回より2.4～6.8 $^{\circ}\text{C}$ 上昇しており、沙留・紋別地区では1 $^{\circ}\text{C}$ 程度上昇していました。

○各地区の採苗状況

- ・ 雄武地区では、5月15日に半分程度の採苗器が投入されました。
- ・ 沙留地区及び紋別地区では、5月14日にほとんどの採苗器が投入されました。